

小海高等学校生活指導係発行

事故は一瞬にして人生を変えてしまう



伊那で自転車の高校生重体が
五日午前八時十五分ごろ、伊
那市中央の信号機のない市道交
差点で、市内の男子高校生（一
五）の自転車と、同市上牧、会
社員富井一さん（二一）の軽自
動車が出会い頭に衝突した。男
子高校生は市内の病院に運ばれ
たが、意識不明の重体。伊那署
が調べている。

冬になり、寒さと路面凍結のため、さすがにバイクは使えなくなってきている。小海駅の駐輪場でもバイク通学者がすっかり見られなくなってきた。

しかし、自転車は相変わらず登下校で使用されている。この記事のような事故に巻き込まれたり、事故を引き起こしたりすることがないように十分注意する必要がある。自転車に使える保険は大丈夫だろうか。

(12/6(土)信濃毎日新聞より)

3年生は4輪運転・同乗に注意

9/22(月)の4輪免許取得説明会の折に注意したことを守っているだろうか。

4輪免許の無断取得をしないこと。

学科試験は自宅研修に入ってから受けること。

卒業までは運転をしないこと。また、同年代の人が運転する車に同乗しないこと。

センター試験受験者はセンター試験終了後に教習開始となること。

3年生の登校日は残り40日を切っている。過去の事故例を振り返ると、ここからが危険ゾーンである。中には、卒業式前日に死亡事故が発生したケースが長野県内であったこともある。

規範意識を高く持ち、「自分の身は自分で守る」ことを日々実践してほしいものです。なお、卒業後、運転をする場合には、保険に入っていない、あるいは、入っていても保険料を払っていないため、保険が使えないということがないように、十分に注意してください。